

学校運営協議会(全日制部会)議事録

校名	大阪府立佐野工科高等学校
(准)校長名	松野 良彦

開催日時	令和6年 11月28日(木) 15:30～16:45
開催場所	佐工会館1F
出席者(委員)	山田啓次会長、深井重行副会長、杉本英雄委員、町谷雄二委員、 西尾みどり委員
出席者(学校)	松野校長、佐藤教頭、佐々木事務部長、飯田、金丸、瀧本、川村、片岡、山際、 赤穂、森栗、古谷(明)、浦田、坂本、中嶋
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度学校経営計画及び学校評価、令和6年度各分掌目標、令和6年度普通 科・各系組織目標、学校生活のきまり、令和6年度「地域産業連携重点型工科高校」 としての取り組みについて
備考	

議題等(次第順)
・令和6年度「学校経営計画及び学校評価」(進捗状況) ・令和6年度 各分掌・系よりの目標達成進捗状況 ・令和6年度 「地域産業連携重点型工科高校」としての取り組み(佐野工科地域コンソーシアム)
協議内容・承認事項等(意見の概要)
●教育庁報告について 【校則の見直しで「学校生活のきまり」についての文言の確認が行われた。 (2)頭髪の部分「高校生らしい」という文言が修正の対象に入った。】 ○いろいろな思いが込められているなら削除なくともいいのではないか。 ○その文言がなければ困るというような判断なら残すほうがいいが、そうでなければかまわないのではないか。 【Ans】あいまいな表現を避けるように指示されており、あいまいな例として「高校生らしい」という文言が入っていたため、見直しをする必要が生じた。 【ある事象の生起の報告】 芸能祭前日に準備していた音響装置の配線が抜かれていた。調整やり直しのため、開始が1時間半遅れて一部の演目が中止になった件。 ○とても驚いている。次年度へ向けての対策が必要。 【Ans】教育庁と連携し、現在調査中。 ●令和6年度「学校経営計画及び学校評価」の進捗、次年度に向けての方針に対する質問 ○定期考査を全廃し、チャレンジ週間をまとめて25日間のチャレンジ月間にする企画について、面白い取組である。 【Ans】9月末まで季節的に暑く、エアコンがない実習室で授業を行うことが困難であることも考慮した。 ○原付免許を就職までにとることを推奨する件について、府教委はOKなのか。 【Ans】はい。今年度、免許が必要な電動自転車と自動車との事故があった。交通安全講習の中でも免許を持つことの意味も併せて伝えていく。 ○囲いのない乗り物には乗らせない方針の家庭もある。 【Ans】免許を持つと事故につながらないのかという懸念はあるが、一つの資格として取ってほしい。

○原付免許を取らせる方向で乗るのを禁止しないというのは3ない運動をしないことになる。通常にはない見直しであると思う。

【Ans】モペット自転車や電動キックボードなどを無免許で乗らせないという認識に改めていかないといけない。昨今、バイクに乗らない子が増えた。免許を取る際にちゃんと指導してもらえれば安全性が高まる。時代に合った合理的な判断で統一性のある指導を願いたい。

○一人ひとりの教育の推進で生徒の満足度が目標値より下回るのはなぜか。

【Ans】年によってブレがあり、分析要因が見当たらない。進路に不安を抱える生徒の対応に関しては進路の取組みでサポートされている。

○もともとの目標値が高いということもあると思う。

○OPTAのlineアカウントはうまくいっているか。

【Ans】PTA役員のみ個別には対応できている。全体にはメールを使用し、line発信のプランはない。登録が必要になるため、アプリを取っていない人もいるため、全員には難しい。

○町内会の防災に関して本校が地域住民の避難所となっているが、被災居住区の受け入れ範囲は決まっているのか。

【Ans】泉佐野市が仲介しているので周知されていると認識している。

○1学年が荒れているとの報告が保護者よりあった件について

【Ans】アンケートを取って確認している。遊び感覚でじゃれあったり、授業態度が静かではなかったりする生徒もいるが、学年進行とともに減少している。必要なときは個別に話して対応する。

●まとめ

○AIを活用した授業関連は先進的、そのまま続けていただく。

○風紀が荒れだすと戻すのが大変なので、生徒の様子は気をつけてみていただきたい。

○チャレンジ月間が成功するように頑張してほしい。

●地域連携重点型工科高校としての取組の説明(実績と今後の予定)

次回の会議日程	
日時	令和7年2月12日(水) 15:30～を予定
会場	佐工会館1F